

日本訪問看護振興財団 2012 年度セミナー

1. 2012 年度制度・報酬改定セミナー

日時●4月7日(土)

会場●名古屋サンスカイルーム(名古屋市)

研修内容●診療報酬、介護報酬の改定内容と活用の仕方／介護保険の新制度(複合型サービスや巡回型訪問サービス)と訪問看護／介護職員の喀痰吸引等の実施に伴う連携／訪問看護関連のその時々最新の最新情報など

講師●佐藤美穂子(財団常務理事)・内野今日子(財団看護専門相談員)

2. 安全な在宅栄養管理セミナー

——訪問看護師はブレインゲーマネージャー

日時●4月8日(日)

会場●名古屋サンスカイルーム(名古屋市)

研修内容●介護職員等の喀痰吸引等に関する制度改正と仕組み／喀痰吸引の知識技術の確認と指導・連携のポイント／経管栄養法の知識技術の確認と指導・連携のポイント／訪問看護ステーションと介護事業所、医師やケアマネジャー等との連携の仕方など

講師●佐藤美穂子(全会場)、安藤真知子(在宅ケアセンターひなたぼっこ代表取締役)ほか財団立訪問看護ステーション管理者・指導看護師が各会場で講義

3. 訪問看護経営・運営管理セミナー

日時●4月14日(土)

会場●笹川記念会館(東京都港区)

研修内容●訪問看護ステーションの経営とは／経営安定に導くためのマーケティング、地域包括ケアにおける訪問看護の役割／訪問看護ステーションの黒字化方策／訪問看護ステーションの運営管理など

講師●梅本哲(医療産業研究所代表取締役)・平原優美(あすか山訪問看護ステーション統括所長)

4. スタッフ教育セミナー～OJTシートの活用方法

日時●4月15日(日)

会場●笹川記念会館

研修内容●現行の新人教育内容の見直し／継続教育、現任教育とは／訪問看護 OJT シートの活用方法／事業所内教育の実際など

講師●本田彰子(東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科総合保健看護学専攻在宅ケア看護学教授)／矢尾知恵子(河北総合病院河北訪問看護・リハビリテーションステーション阿佐谷所長)／上野まり(財団事業部

長)

【以下共通】

問い合わせ●日本訪問看護振興財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 5F

TEL 03-5778-7005

FAX 03-5778-7009

URL <http://www.jvnf.or.jp/>

Ⅱ 病院管理研究協会主催研修

1. 看護管理研修「チーム医療における看護師の役割」

日時●4月21日(土)

会場●ホギメディカル本社ホールB1(東京都港区)

プログラム●「これからの「チーム医療」と看護——Interprofessional work, 役割分担, 質」小池智子(慶應義塾大学看護医療学准教授)／「看護師だからできること——チーム医療の影のけん引車——現場での実績, 相互理解=信頼, 患者(利用者)の代弁者」川合栄子(台東区立台東病院副院長看護・介護統括部長)／「チーム医療における看護師の役割——訪問看護からみた医療連携を重点に——在宅ケア, 訪問看護, 家族支援」秋山正子(白十字訪問看護ステーション統括所長)／「緩和ケアにおけるチーム医療——院内連携, 地域連携, 緩和ケア」佐久間由美(聖隷福祉事業団総合病院聖隷三方原病院腫瘍センター課長)／「超高齢社会におけるチーム医療——生活を支える看護師の役割——生活, 調整, End of Life」桑田美代子(慶友会青梅慶友病院看護介護開発室長)

申し込み締切●4月11日(水)

2. 病院管理研修「病院におけるチーム医療の取り組み」

日時●4月28日(土)

プログラム●「チーム医療を医療経済学の視点から定量する——チーム医療を評価した点数の分析, チーム医療実践例とこれから, マクロ的な視点からチーム医療を分析」工藤高(MM オフィス代表取締役)／「多職種でアプローチ! 緩和ケアチーム医療とは——緩和ケア, 多職種チーム医療, multidisciplinary team と interdisciplinary team」田中 桂子(がん・感染症センター都立駒込病院緩和ケア科医長)／「相澤病院における医師事務作業補助業務について——医師との良好なコミュニケーションが構築できる事務作業補助者の育成——医師との良好なコミュニケー

ション, 人材(財)育成, 臨床知識を備えた事務作業補助者」草間昭俊(慈恵会相澤病院メディカルクラーク課主任)／「病院における栄養管理とチーム医療の必要性について——Hospital Malnutrition, 栄養診断, NST」藤谷 朝実(済生会横浜市東部病院栄養部副部長)／「呼吸ケアチームとチーム医療——呼吸ケアチーム・人工呼吸器管理・専門看護師の役割」田村富美子(聖路加国際病院救命救急センター急性・重症患者看護専門看護師)

申し込み締切●4月18日(水)

【以下共通】

会場●ホギメディカル本社ホールB1(東京都港区)

参加費●会員 1 万 3000 円, 非会員 1 万 7000 円

定員●96 名(先着順)

申し込み●ホームページより専用申込用紙をダウンロードし, FAX にて

問い合わせ●社団法人病院管理研究協会事務局

〒106-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8 公衛ビル 4 階

TEL 03-3352-2575

FAX 03-3352-2575

E-mail byokan@crest.ocn.ne.jp

URL <http://www5.ocn.ne.jp/~byokan21/>

第 38 回

日本保健医療社会学会大会

日時●5月19日(土)・20日(日)

会場●神戸市看護大学(神戸市西区)

テーマ●チーム医療の時代の従事者教育を問う

プログラム●教育講演「チーム医療再考: チーム・アプローチでデザインするこれからの医療ケア」細田満和子(ハーバード公衆衛生大学院リサーチフェロー)／シンポジウム「チーム医療教育をどうするか——チームワークと専門職性との間で」吉村学(医学・揖斐郡北西部地域医療センター), 備酒伸彦(理学療法学・神戸学院大学), 鈴木志津枝(看護学・神戸市看護大学), 三井さよ(社会学・法政大学)

参加費●(事前登録~4月13日)学会員 5000 円, 非学会員 6000 円

(当日)学会員 6000 円, 非学会員 7000 円

申し込み●ホームページより

問い合わせ先●学会事務局(担当: 益)

E-mail jhms38@tr.kobe-ccn.ac.jp
URL http://jhms38.umin.ne.jp/index.html

日本看護倫理学会 第5回年次大会

日時●5月26日(土)・27日(日)
会場●東京女子医科大学(東京都新宿区)
テーマ●倫理的意思決定のためのアプローチ:事例検討, コンサルテーション, ナラティブ
プログラム●会長講演「精神看護における倫理的意思決定と事例検討」田中美恵子(東京女子医科大学看護学部教授)／基調講演「Ethical decision-making: Principles and relationships」Douglas P. Olsen (Nurse Ethicist, National Center for Ethics in Health Care & Associate Professor, Uniformed Services University for Health Sciences)／教育講演「倫理的意思決定のためのナラティブアプローチ」足立智孝(道德科学研究センター生命環境研究室主任研究員)／シンポジウム「さまざまな臨床における倫理的意思決定のための支援」山内典子(東京女子医科大学病院看護部エキスパートナース)・江波戸和子(山田病院精神看護専門看護師)・浅香えみ子(独協医科大学越谷病院看護部副部長)
参加費●会員 8000 円, 非会員 9000 円, 大学院生を除く学生 1000 円
問い合わせ●事務局
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
FAX 03-3341-8832 (日本看護倫理学会第5回年次大会宛)
E-mail jnea5@nurs.twmu.ac.jp
URL http://www.rinri5.ews045.com

第13回 日本医療情報学会看護学術大会

日時●8月4日(土)・5日(日)
会場●タワーホール船堀(東京都江戸川区)
テーマ●多職種協働を支えるIT害の教訓から改革へ——私たちは何を伝えるべきか
プログラム●大会長講演「多職種協働を支えるIT」瀬戸僚馬(東京医療保健大学医療保健学部医療情報学科)／特別講演「多職種協働による今後の医療福祉(仮)」高橋泰(国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所)／シンポジウム1「システム導入・更新は業務プロセス改善のチャンス! (仮)」オーガナイザ: 鎌田智恵子(東京医科大学病院看護部), 共催: 医療情報ケアプロセス研究会／シンポジウム

2「多職種協働時代における医療情報担当者の役割(仮)」オーガナイザ: 成清哲也(東京医科大学病院医療情報室), 共催: 関東医療情報技師会／ワークショップ1「日本の医療者が総力をあげて取り組むべき糖尿病の悪化防止にむけた情報共有と活用: MAP & パスが開く新たな世界」オーガナイザ: 平井愛山(千葉県立東金病院), 共催: NPO 法人疾病管理・地域連携支援センター／ワークショップ2「今, 看護現場に潜在する危機を考える: 看護情報システム／病棟看護現場に潜在するリスク」オーガナイザ: 保坂良資(湘南工科大学), 共催: 日本生体医工学会コピキタス情報環境と医療システム研究会／ワークショップ3「患者を起点とした情報の利活用とそのあり方」オーガナイザ: 中元雅江(岡崎市民病院), 共催: 病棟情報システム研究会／ランチョンセミナー／一般演題／学生ワークショップ
参加費●
(事前登録3月1日～6月30日)日本医療情報学会会員 8000 円, 非会員 9000 円
(当日)日本医療情報学会会員 9000 円, 非会員 1 万円

【演題募集】
募集締め切り●5月25日(金)
応募方法●大会ホームページより
問い合わせ●第13回日本医療情報学会看護学術大会事務局
E-mail ni2012@mail.jami-ni.jp
URL http://www.jami-ni.jp/2012/

第16回 日本看護管理学会年次大会

日時●8月23日(木)・24日(金)
会場●札幌コンベンションセンター(札幌市白石区)
テーマ●^{あす}未来の医療を^{リード}牽引する看護管理
参加費●
(～6月30日12:00まで)会員 1 万円, 非会員 1 万 1000 円, 学生 2000 円
(7月1日～)会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 3000 円, 学生 2000 円
申し込み●ホームページより
【演題募集】
募集内容●一般演題, インフォメーション・エクスチェンジ(公募)
応募期間●2月21日(火)～4月26日(木)12:00
※演題登録は年次大会ホームページより

問い合わせ●事務局
〒060-0011 札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
札幌市立大学看護学部
E-mail janap16@scu.ac.jp
URL http://janap16.umin.jp/

日本看護歴史学会 第26回学術集会

日時●8月26日(日)・27日(月)
会場●日本赤十字看護大学(東京都渋谷区)
テーマ●災害の教訓から改革へ——私たちは何を伝えるべきか
【演題募集】
募集締め切り●4月27日(金)
詳細●ホームページ参照
問い合わせ●事務局
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3 日本赤十字看護大学内
E-mail jsnh26-office@umin.ac.jp
URL http://rkango26.umin.jp

認定看護管理者制度 サードレベル教育課程 受講者募集

開催期間●8週間(39日間)
〈第Ⅰ期〉8月27日(月)～9月14日(金)3週間(15日)
〈第Ⅱ期〉11月5日(月)～22日(木)3週間(14日)
〈第Ⅲ期〉2013年1月10日(木)～24日(木)2週間(10日)
開催場所●札幌市立大学看護学部・桑園キャンパス(札幌市)
募集期間●2012年5月1日(火)～21日(月)必着
面接日●6月14日(木)または15日(金)
募集定員●30名
受講費用●選考手数料 1 万円, 受講料 13 万円(平成 23 年度実績)
※募集要項等はホームページよりダウンロード
問い合わせ●札幌市立大学地域連携研究センター 認定看護管理者制度サードレベル教育機関
〒060-0011 札幌市中央区北 11 条西 13
TEL 011-726-2500
FAX 011-726-2506
E-mail cna@scu.ac.jp
URL http://www.scu.ac.jp/

訂正とお詫び

本誌3, 4月号(22巻3, 4号)インフォメーション欄に誤りがありました。
下記のとおり、訂正しお詫びいたします。
3号 p229, 4号 p361 第13回日本医療情報学会看護学術大会テーマ
誤：多職種協働を支えるIT害の教訓から改革へ——私たちは何を伝えるべきか
正：多職種協働を支えるIT